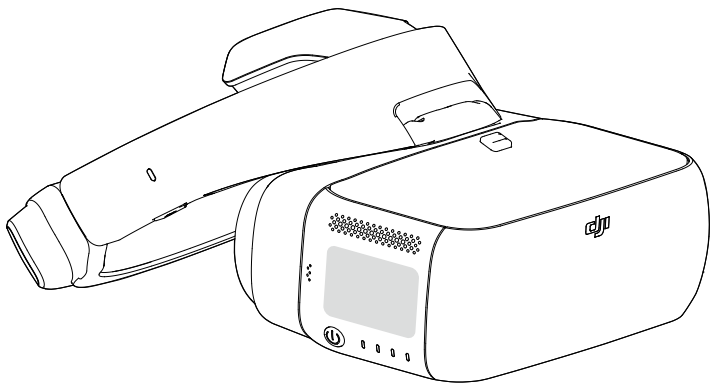
DJI GOGGLES

ユーザーガイド V1.6

2018.09



キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードで検索して、トピックを見つけます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書を読んでいる場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始します。

任意のトピックへの移動

目次のトピックの全リストが表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに進みます。

本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

警告　重要　ヒントとコツ　参考

ご使用になる前にお読みください

DJI™ Goggles をお使いになる前に以下の資料をお読みください。
1.DJI Goggles 同梱物
2.DJI Goggles の免責事項と安全に関するガイドライン
3.DJI Goggles クイックスタートガイド
4.DJI Goggles ユーザーマニュアル

「同梱物」の一覧の品物がすべてそろっているか確認することをお勧めします。DJI 公式ウェブサイトのチュートリアルビデオをすべて視聴し、免責事項を読んでお客様の権利と責任について理解してください。初めて使用する際は「クイックスタートガイド」にひととおり目を通し、詳細はユーザーマニュアルを参照してください。本製品の取り付け、メンテナンス、使用で不明な点や問題がある場合は、DJI または DJI 正規販売代理店にお問い合わせください。

チュートリアルビデオ

以下のリンクでチュートリアルビデオをご覧いただけます。DJI ゴーグルを安全にお使いいただく方法をご案内しています。
http://www.dji.com/dji-goggles/info#video

DJI Assistant 2 のダウンロード

DJI ASSISTANT™ 2 を以下よりダウンロードします。
http://www.dji.com/dji-goggles/info#downloads
DJI Assistant 2 は、Windows 7 以降、OS X 10.11 以降に対応しています。

© 2018 DJI All Rights Reserved.

目次

本マニュアルの使用方法 2
- 凡例 2
- ご使用になる前にお読みください 2
- チュートリアルビデオ 2
- DJI Assistant 2 のダウンロード 2

製品の特徴 4
- はじめに 4
- 各部名称 4

取り付けと装着 5

使用方法 6
- 操作の制御 6
- 接続 7
- メイン画面 11
- 機体の制御 13
- 写真およびビデオの表示 14
- ゴーグルの充電 16

ファームウェアのアップグレード 17
- DJI Assistant 2 17
- DJI GO 4 アプリ 17

クリーニングとメンテナンス 18
- ゴーグルのクリーニング 18
- レンズのメンテナンス 18

仕様 19

© 2018 DJI All Rights Reserved.

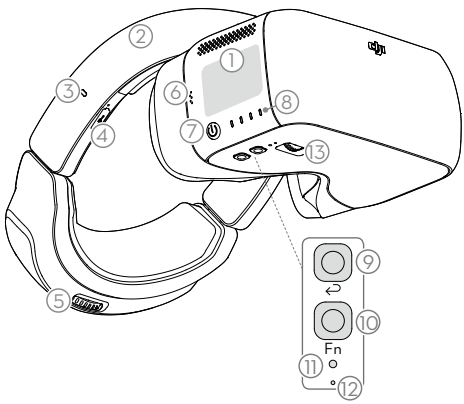
製品の特徴

はじめに

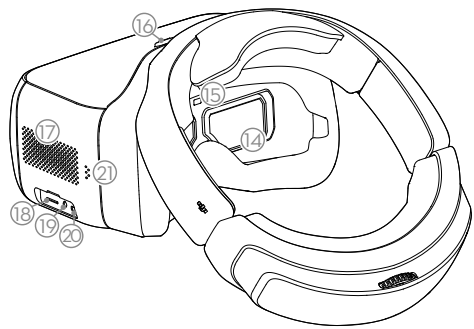
DJI Goggles には、機体と使用するための高性能ディスプレイと低遅延のビデオダウンリンクが装備されており、リアルタイムで FPV（一人称視点）の飛行を体験できます。また、Goggles は HD 映像を再生することもできるため、実際に体験しているような高画質ビデオをお楽しみいただけます。

直感的で機能的な設計になっているので、右手だけで簡単に操作できます。Goggles のヘッドトラッキング機能により、頭を動かすことで機体とジンバルを制御することができます。DJI インテリジェント・フライトモードによる、まったく新しい飛行体験をお楽しみください。

各部名称



1. タッチパネル
2. ヘッドバンド
3. 充電ステータスインジケーター
4. Micro USB ポート
5. ヘッドバンドノブ
6. スピーカー
7. 電源ボタン
8. バッテリー残量インジケーター
9. 戻るボタン
10. 機能ボタン
11. リンクボタン
12. リンクステータスインジケーター
13. IPD（瞳孔間距離）ノブ

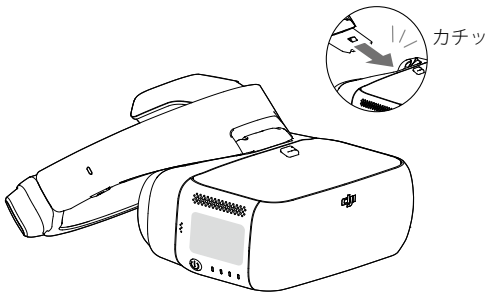


14. レンズ
15. 近接センサー
16. ヘッドバンドバックル
17. 排熱用の通気孔
18. microSD カードのスロット
19. 3.5mm オーディオポート
20. HDMI Type-D ポート
21. スピーカー

© 2018 DJI All Rights Reserved.

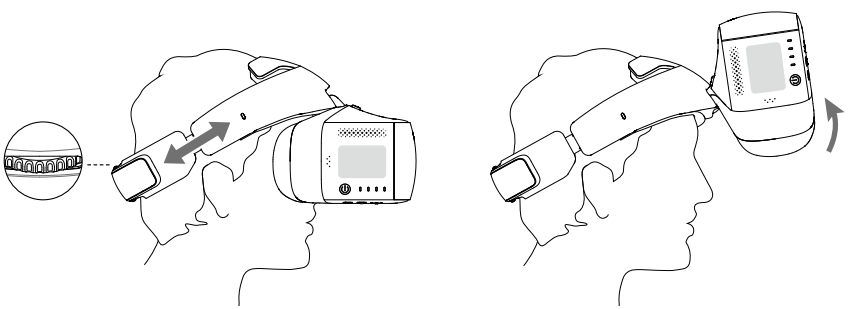
取り付けと装着

1. ゴーグル本体の上部にあるスロットにヘッドバンドをカチッと音がするまで差し込みます。しっかりと留め付けられているか確認します。



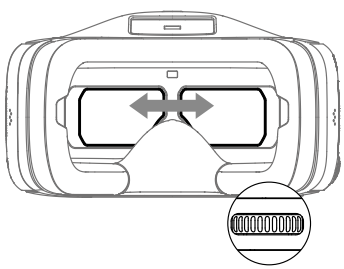
ヘッドバンドバックルを押して反対方向に動かしてヘッドバンドを解除します。

2. レンズを目の位置に合わせてヘッドバンドを引き下げます。ゴーグルが顔と頭に快適にぴったりとフィットするようにヘッドバンドのノブを調節します。



- ゴーグルは眼鏡の上からでも装着できます。
- ゴーグル装着したまま、ゴーグル本体を持ち上げて、一時的に外の世界を見ることことができます。

3. 映像の位置がきちんと合うように、IPD ノブを回してレンズ間の距離を調節します。



© 2018 DJI All Rights Reserved.

使用方法

操作の制御

[1] 電源ボタン

電源ボタンを 1 回押した後、もう 1 回長押ししてゴーグルのオン／オフを切り替えます。バッテリー残量インジケーターが現在のバッテリー残量を表示します。

[2] バッテリー残量インジケーター

バッテリーの電源を切るとき、電源ボタンを 1 回押すと、バッテリー残量インジケーターが点灯して現在のバッテリー残量を表示します。

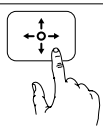
充電および放電中も、バッテリー残量インジケーターは現在のバッテリー残量を表示します。インジケーターの表示は以下のとおりです。

● LED 点灯　☼ LED 点滅　○ LED 消灯

バッテリー残量インジケーター				
LED1	LED2	LED3	LED4	バッテリー残量
●	●	●	●	87.5 ～ 100%
●	●	●	☼	75 ～ 87.5%
●	●	●	○	62.5 ～ 75%
●	●	☼	○	50 ～ 62.5%
●	●	○	○	37.5 ～ 50%
●	☼	○	○	25 ～ 37.5%
●	○	○	○	12.5 ～ 25%
☼	○	○	○	0 ～ 12.5%
○	○	○	○	0

[3] タッチパネル

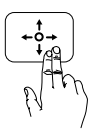
右手でタッチパネルを使用し、画面上の操作を制御します。



↔ メニューを参照して左右にスワイプ

↕ メニューを参照して上下にスワイプ

○ タップして確認



← タッチパネルをロックして機能しないようにする

→ タッチパネルのロック解除

↓ ショートカットメニューに移行

↑ ショートカットメニューを終了

○ スクリーンショットをタップしたまま保持すると、その画像がゴーグルの microSD カードに保存されます。*

*microSD カードがゴーグルに挿入されていることを確認してください。

© 2018 DJI All Rights Reserved.

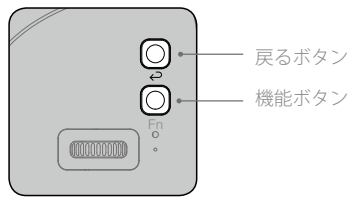
[4] 充電ステータスインジケーター
このインジケーターは現在の充電ステータスを示します。LED の赤色点灯、黄色点灯、緑色点灯は、それぞれ充電レベルが低、中、高であることを示します。

赤色点滅	赤色点灯	黄色点灯	緑色点灯
ヘッドバンドの異常	0 ～ 29%	30 ～ 89%	90 ～ 100%

[5] 戻るボタン
このボタンを押すと前のメニューに戻るか、現在のインテリジェント・フライトモードを終了します。

[6] 機能ボタン
フォーカス機能に対応している機体（MAVIC™ Pro、PHANTOM™ 4 Pro など）では、このボタンを押すとディスプレイ画面にフォーカスカーソルが表示されます。1 本の指でタッチパネル上を前後にスワイプしてズームインまたはズームアウトします。頭を動かし、タッチパネルをタップしてフォーカスポイントを決めます。

このゴーグルは、Mavic Pro の 4 倍ズームまで対応しています。



[7] リンクボタン
OCUSYNC™ で機体と接続されている場合、適切なツールでリンクボタンを押してリンクを開始します。

[8] リンクステータスインジケーター
ゴーグルと機体とのリンクステータスを示します。リンク中はインジケーターが赤色に点灯し、リンクが完了すると緑色の点灯になります。

接続

ゴーグルは幅広い DJI 製の機体に対応し、さまざまな用途に使用できます。下記の手順に従って接続します。

OcuSync 対応の DJI 機体

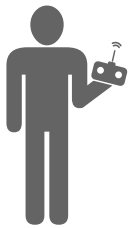
OcuSync を使用すると、Goggles は Mavic 2 シリーズ、Mavic Pro、または Phantom 4 Pro/Pro+ V2.0 に無線で接続できます。

- リンク前に、Mavic Pro の制御モードスイッチを RC モードに切り替えます。
- DJI GO™ 4 アプリが最新版にアップデートされていることを確認します。
- Mavic 2 シリーズと Phantom 4 Pro/Pro+ V2.0 は、現在、標準モードでの Goggles へのリンクにのみ対応しています。

© 2018 DJI All Rights Reserved.

標準モード

1 人または 2 人で機体を操作する場合、標準モードが適しています。このモードでは、送信機を操作する人が機体の操縦に集中でき、一方ゴーグル装着者は空からの映像を視聴でき、リアルタイム FPV での撮影を、より直感的な操作で行うことができます。ゴーグル装着者が頭を動かすことにより、機体の向きやジンバルの動きを制御できます。



- 送信機
- DJI GO 4 アプリ
  √ ライブビュー
  √ インテリジェント・フライトモード

- DJI Goggles
  √ ライブビュー
  √ ヘッドトラッキング
  √ インテリジェント・フライトモード

⚠
- 1 人で送信機とゴーグルを操作する場合は、安全に飛行するために指示や警告を与えるスポッター（立会者）が必要です。
- ヘッドトラッキングフライトでは、機体のヨー軸をゴーグルと送信機の両方で制御できます。ヘッドトラッキングジンバルでは、ジンバルをゴーグルの動きだけで制御できます。

リンク方法

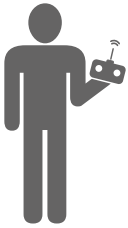
1. 機体および送信機の両方の電源が入っており、リンクされていることを確認します。
2. ゴーグルを装着して電源をオンにします。
3. ゴーグルのリンクボタンを押すか、タッチパネルで［ツール］>［設定］>［リンク設定］の順に進み［クイックリンク］を選択して確定します。リンクのスタンバイ状態では、ゴーグルのリンクステータスインジケーターは赤色に点灯します。
4. 機体のリンクボタンを押します。リンクが完了すると、ゴーグルのリンクステータスインジケーターが緑色の点灯に変わります。

 © 2018 DJI All Rights Reserved.

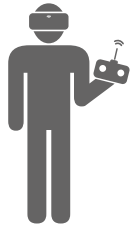
コーチモード

2 人で機体を同時に操作する場合、コーチモードが適しています。このモードでは、送信機（メイン）オペレーターが機体の操縦に集中でき、一方ゴーグル装着者は、補助のオペレータとして、ゴーグルと送信機（補助スレーブ）で、空からの映像を視聴し、リアルタイム FPV での撮影を、より直感的な操作で行うことができます。ゴーグル装着者が頭を動かすことにより、機体の向きやジンバルの動きを制御できます。ゴーグル装着者は、送信機（補助スレーブ）で機体を制御することもできます。（ただし、送信機（メイン）ほどの権限はありません。）

DJI GO 4 アプリに接続している送信機（メイン）とゴーグルのみ、ライブビューを表示することができます。



- 送信機（メイン）
- DJI GO 4 アプリ
  - √ ライブビュー
  - √ インテリジェント・フライトモード



- DJI Goggles（補助）
  - √ ライブビュー
  - √ ヘッドトラッキング
  - √ インテリジェント・フライト・モード
- 送信機（補助スレーブ）
  - ◷ +2 秒
  - ⚠ フライトモードの切り替え不可。ライブビューなし。設定のみサポート。

⚠
- フライトモードの切り替えをできるのは、送信機（メイン）のみです。
- 2 人が同時に機体を操作した場合、機体の動きに関しては、送信機（メイン）からのコマンド (コントロールスティックおよびジンバルダイヤル) が優先されます。 送信機（メイン）が 2 秒以上操作されない場合、送信機（補助スレーブ）にコマンドの優先権が移ります。しかし、送信機（メイン）で操作を再開すると、すぐに優先権は戻ります。その他のコマンドについては、どちらの送信機（メイン / 補助スレーブ）共に同等の優先権を持ちます。

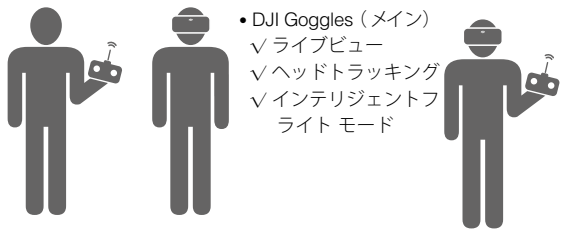
リンク方法

1. 機体および送信機（メイン）の両方の電源が入っており、双方がリンクされていることを確認します。
2. ゴーグルを装着して電源をオンにします。
3. タッチパネルを使用して、［ツール］> ［設定］> ［リンク設定］の順に進みます。
4. ［詳細リンク］> [Goggles を一組接続します。］の順に選択して確定します。ゴーグルのリンクステータスインジケーターが赤色に点灯し、リンクの待機状態になります。
5. 機体のリンクボタンを押します。リンクが完了すると、リンクステータスインジケーターが緑色の点灯に変わります。
6. ゴーグルで［送信機を接続します。］を選択して確定します。
7. 送信機（補助スレーブ）の電源を入れて、モバイルデバイスに接続します。
8. DJI GO 4 アプリを起動し［ カメラビュー ］に進みます。 を押して［ 送信機リンク ］> [2 台目送信機］の順に選択すると、数分で正常にリンクされます。

© 2018 DJI All Rights Reserved.

マルチユーザーモード

マルチユーザーモードは、2 人以上の複数のオペレーターで、機体を操作する場合に適しています。このモードでは、ゴーグル（メイン）装着者もしくはゴーグル（補助）装着者は、空からの映像を視聴し、リアルタイム FPV での撮影を、より直感的な操作で行うことができます。ゴーグル（メイン）装着者はヘッドトラッキングでの操作ができますが、ゴーグル（補助）装着者はライブビュー視聴のみになります。



⚠
- 操縦者が 2 人ではなく 1 人で送信機とゴーグルを操作する場合は、安全に飛行するために指示や警告を与えるスポッター（立会者）が必要です。
- フライトモードの切り替えをできるのは、送信機（メイン）のみです。
- ゴーグル（補助）はヘッドトラッキングをサポートしません。
- 2 人が同時に機体を操作した場合、機体の動きに関しては、送信機（メインスレーブ）からのコマンド (コントロールスティックおよびジンバルダイヤル) が優先されます。送信機（メインスレーブ）が 2 秒以上操作されない場合、送信機（補助スレーブ）にコマンドの優先権が移ります。しかし、送信機（メインスレーブ）で操作を再開すると、すぐに優先権は戻ります。その他のコマンドについては、どちらの送信機（メインスレーブ / 補助スレーブ）共に同等の優先権を持ちます。

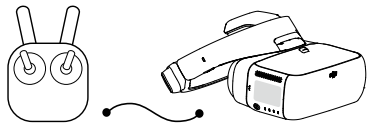
リンク方法

1. ゴーグル（メイン）を装着して電源をオンにします。
2. タッチパネルを使用して、［ツール］>［設定］>［リンク設定］の順に進みます。
3. ［詳細リンク］>［Goggles を二組接続します。］>［1 台目／送信機］の順に選択して確定します。リンクステータスインジケーターが赤色に点灯し、リンクの待機状態になります。
4. 機体のリンクボタンを押します。リンクが完了すると、リンクステータスインジケーターが緑色の点灯に変わります。
5. ゴーグルで送信機と接続するかどうかを選択します。次に、送信機（メインスレーブ）の電源を入れて、必要に応じてモバイルデバイスに接続します。
6. DJI GO 4 アプリを起動し［カメラビュー］に進みます。 を押して、［送信機リンク］>［1 台目送信機］の順に選択します。数秒間後にリンクされます。
7. ゴーグル（補助）と送信機（補助スレーブ）のペアについても、上記の手順を繰り返してください。ゴーグルで［詳細リンク］>［Goggles を二組接続します。］>［2 台目／送信機］の順に選択し、モバイルデバイスで［送信機リンク］>［2 台目送信機］を選択する必要があります。

 © 2018 DJI All Rights Reserved.

その他の DJI 製の機体

このゴーグルは、その他の DJI 製の機体にも対応しています。機体が送信機にリンクされていることを確認し、ゴーグルを送信機の Micro USB ポートもしくは HDMI ポートに接続します。



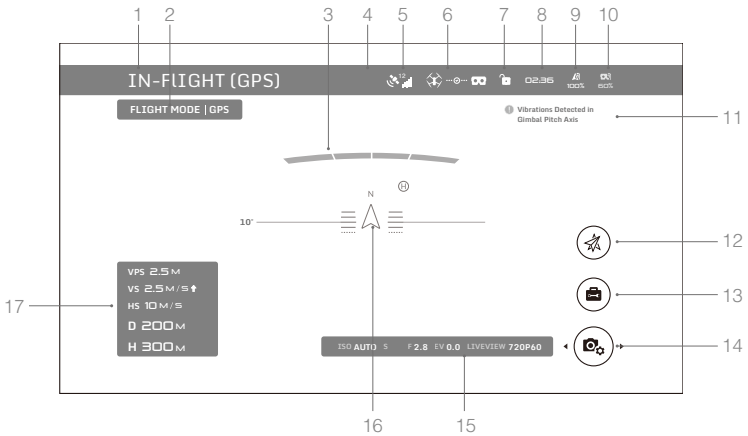
INSPIRE™ 2* PHANTOM 4 シリーズ * MAVIC AIR SPARK™ **	INSPIRE シリーズ PHANTOM 4 PRO+ PHANTOM 4 ADVANCED+
Micro USB ケーブル	HDMI ケーブル
ヘッドトラッキング、インテリジェント・フライトモード、ライブビューをサポート。	ライブビューのみサポート。機体の操作はサポートしていません。

* Phantom 4 Pro+/Advanced+ の送信機は最新のファームウェアにアップデートする必要があります。
** 送信機の Micro USB ポートに OTG ケーブルを接続し、Micro USB ケーブルでゴーグルに接続してください。

HDMI ケーブルを使用するときは、ゴーグルのヘッドバンドの左側にワイヤクリップを固定して、クリップの凹部を通して HDMI ケーブルを背中側に下ろすことができます。

メイン画面

ゴーグルのメイン画面と機能について以下に説明します。



© 2018 DJI All Rights Reserved.

1. 機体のステータス
   機体のフライトステータスを示します。
2. フライトモード
   現在のフライトモードを示します。
3. 障害物認識ステータス
   障害物が機体に近づくと、赤色のバーが表示されます。障害物が認識可能な範囲に入ると、オレンジ色のバーが表示されます。
4. GPS ステータス
   GPS の信号強度を示します。
5. 送信機の信号強度
   送信機の信号強度が表示されます。
6. 接続ステータス
   機体とゴーグルの接続ステータスを示します。緑色は信号接続が正常であることを示し、黄色は信号接続が弱いか不安定であることを示し、赤色は切断を示します。切断された場合、ゴーグルは自動的に再接続を試みます。
7. タッチパネルのロックステータス
   タッチパネルのロックステータスを示します。予期せぬ誤操作を防ぐため、ロックされたタッチパネルには触れても反応しません。ロックを解除するには 2 本の指で前方へスワイプします。
8. 飛行時間
   機体の飛行時間を表示します。
9. 機体のバッテリー残量
   インテリジェント・フライト・バッテリーの現在のバッテリー残量を表示します。
10. ゴーグルのバッテリー残量
    ゴーグルの現在のバッテリー残量を表示します。
11. プロンプトメッセージ
    警告メッセージを表示します。消去したい情報を選んで、上か下にスワイプすると、消去できます。
12. インテリジェント・フライトモード
    タップして TapFly（タップフライ）、ActiveTrack（アクティブトラック）、地形フォロー、トライポッドなどのインテリジェント・フライトモードを選択します。
13. ツール
    タップして、ゴーグルの設定、自動離陸 / 着陸、HDMI ビデオ再生、フライト写真 / ビデオの再生を選択します。
    設定メニューには、ビデオチュートリアル、リンク設定、言語設定、音量設定、ジンバルモード、AR 補助設定などが含まれます。
    ジンバルモード
    • FPV モード : ジンバルが機体の動きと同期し、FPV (一人称視点) での飛行体験を提供します。
    • フォローモード : ジンバルがカメラの安定性を保ち、安定した水平なビューを実現します。
    AR 補助設定
    • 固定翼モード AR: 固定翼モードで機体の飛行経路が表示されます。
    • ヘッドトラッキングジンバル AR アシスト : ジンバルの位置を中央が表示されます (機体の前方方向)。
    • ヘッドトラッキングフライト AR アシスト : 機体のヨーとスロットルのゲイン値が表示されます。
14. カメラ設定 / 撮影 / 録画ボタン
    タップして、カメラの ISO、シャッター、絞り、オート露出の値を設定します。
    撮影モードと録画モードを切り替えるには、左または右にスワイプしてください。タップすると、撮影またはビデオ録画の開始 / 停止の操作を行ないます。

 © 2018 DJI All Rights Reserved.

15. カメラのパラメータおよびライブビューモード *
    カメラの設定パラメータとライブビューモードを表示します。

16. 飛行姿勢
    三角のマークは機体の進行方向を示します。
    水平レベルは、機体のロール角を示します。
    スケールはジンバルのチルト角を示します。
    ヘッドトラッキングジンバルが有効なとき、三角マークの横の弧はジンバルのヨー角を示します。

17. フライトテレメトリ
    フライトテレメトリは、機体とホームポイント間の水平／垂直距離および機体の水平／垂直方向の移動速度です。機体が地面に近い場合は高度が表示されます。

* ゴーグルのライブビューモードは機体のビデオ録画と対応しています。
ライブビューモードが HD モードの場合、ビデオ録画は自動的に 1080p30 に切り替わります。スムーズモードの場合、ビデオ録画は自動的に 1080p60 に切り替わります。
機体のビデオ録画モードを変更すると、ゴーグルのライブビューは合致するフォーマット（1080p30 HD または 720p60 スムーズモード）に優先的に同調します。そうでない場合、ライブビューモードは 720p30 に調整されます。

機体の制御

以下はそれぞれの機体に接続したときにゴーグルがサポートする機能の一覧です。*

	Mavic 2 シリーズ	Mavic Pro	Phantom 4 Pro/ Pro+ V2.0	Mavic Air	Spark	Phantom 4 Pro/ Advanced シリーズ	Phantom 4	Inspire 2	Inspire 1 シリーズ
ヘッドトラッキングフライト	√	√	√	√	√	√	√	√	×
ヘッドトラッキングジンバル	√	√	√	√	√	√	√	√	×
フォーカス	√	√	√	×	×	√	×	√	×
自動離陸 / Return-to-Home	√	√	√	√	√	√	√	×	×
TapFly (タップフライ)	√	√	√	√	√	√	√	×	×
ActiveTrack (アクティブトラック)	√	√	√	×	√	√	√	×	×
地形フォロー	×	√	√	×	×	√	√	×	×
三脚	×	√	√	×	√	√	×	×	×
シネマティック	×	√	√	×	×	×	×	×	×
固定翼	×	√	×	×	×	×	×	×	×

* 一部の機能は後日サポート予定です。今後のアップデートにご注意ください。

⚠ Mavic Pro にリンクさせると、送信機を使用してゴーグルを制御できます。5D ボタン = タッチパネル、C1 ボタン = 機能ボタン、C2 ボタン = 戻るボタン C1 ボタンと C2 ボタンを同時に押すとショートカットメニューに入り、C2 ボタンを押すと終了します。これらの送信機のボタンがゴーグルの制御に使用され、ゴーグルの元の機能は無効になります。慎重に飛行させてください。

インテリジェント・フライトモード

ゴーグルは、TapFly（タップフライ）、ActiveTrack（アクティブトラック）、地形フォロー、トライポッド、固定翼などの DJI インテリジェント・フライトモードをサポートしています。詳細については機体のユーザーマニュアルを参照してください。
タッチパネルを使用して［インテリジェント・フライトモード］に入り、対応するボタンを選択して対象のモードを有効化します。以下のように、ゴーグルの TapFly（タップフライ）、ActiveTrack（アクティブトラック）、固定翼を有効化します。
1.TapFly(タップフライ)
a) タッチパネルを使用して［インテリジェント・フライトモード］>［ タップフライ］に進みます。
b) 頭を動かしてゴーグルのカーソルを制御し、タッチパネルをタップして目標の方向を確定し、GO アイコンが表示されるのを待ちます。
c) もう一度タップして選択内容を確定すると、機体は目標の方向に飛行します。

© 2018 DJI All Rights Reserved.

d) ゴーグルの戻るボタンを押すと、現在の目標方向の設定または TapFly モードを終了します。

2.ActiveTrack (アクティブトラック)

a) タッチパネルを使用して［インテリジェント・フライトモード］>［ アクティブトラック］に進みます。

b) 頭を動かしてゴーグルのカーソルを操作し、タッチパネルをタップして追尾したい被写体を選択します。対象物が自動認識されない場合は、頭を左上隅から右下隅に動かして、ボックスを被写体の周りにドラッグします。
追尾中はボックスが緑色に変わります。ボックスが赤くなった場合は被写体が特定できていません。もう一度やり直してください。

c) もう一度タップして選択内容を確定すると、機体は対象物を追尾します。

d) ゴーグルの戻るボタンを押すと、現在の被写体への追尾または ActiveTrack モードを終了します。

3. 固定翼

a) タッチパネルを使用して［インテリジェント・フライトモード］>［固定翼］順に進みます。

b) 機体の前進速度が 3m/ 秒よりも速いとき、固定翼クルーズオプションに入ることを選択できます。ゴーグルの機能ボタンを押すかタッチパネルをタッチして固定翼モードに入ります。

c) ゴーグルの戻るボタンを押すと固定翼モードを終了します。

ショートカットメニュー

タッチパネル上を 2 本の指で下方にスワイプすると、ショートカットメニューに入ります。カーソルを動かしてタッチパネルをタップし、機能のオン／オフを切り替えます。
ゴーグルはヘッドトラッキングをサポートしており、頭の動きに機体を従わせることができます。

1. ヘッドトラッキングフライト
頭を動かして機体およびジンバルを制御します。左右に動かして機体のヨーを制御し、上下に動かしてジンバルのピッチを制御します（-90 ～ 30°）。
2. ヘッドトラッキングジンバル
頭を動かしてジンバルを制御します。左右に動かしてジンバルのヨーを制御し（-30 ～ 30°）、上下に動かしてジンバルのピッチを制御します（-90 ～ 30°）。
3. モーションコントロールのリセット
ジンバルを中央位置にセットするか、送信機の中心点にヨースティックをシミュレートします。ヘッドトラッキングはこの点を中心とします。

ツール設定でヘッドトラッキングの感度を設定できます。

- ヘッドトラッキングを有効にすると（特にヘッドトラッキングフライトの場合）、機体のヨーやジンバルの動きは影響を受けます。慎重に飛行させ、送信機の制御に注意を払ってください。
- 動きが速いときは、滑らかなライブビューを実現するために 720p60 の高フレームレートを使用することをお勧めします。
- TapFly（タップフライ）および ActiveTrack（アクティブトラック）使用時はショートカットメニューの機能は無効になります。
- 固定翼モード使用時は、ヘッドトラッキングフライトのみ有効にできます。固定翼クルーズオプションに入る前にこのヘッドトラッキング機能を有効にする必要があり、その際はできる限り頭を静止させてください。

写真およびビデオの表示

空撮動画や写真を見たり、頭や身体を動かしながらパノラマを眺めたり、ゴーグルを介して HD 動画コンテンツを見たりすることで、没入感のある視覚体験を得られます。

空撮写真やビデオ

[ツール] > [再生] を選択し、フライト写真やビデオ、デモビデオの再生ページに進みます。

 © 2018 DJI All Rights Reserved.

ローカルストレージ
機体から microSD カードを取り出し、それをゴーグルの microSD カードスロットに挿入して、[ローカルストレージ] を選択します。

機体ストレージ
機体に保存されている画像を表示するには、[機体ストレージ] を選択します。写真やビデオを閲覧中に、1 本の指で上下にスワイプすると、ダウンロードしたり削除したりできます。

パノラマ
ゴーグルは最大 30000 × 15000 解像度のパノラマの表示に対応しています。頭や身体を動かすと、写真の左右（パン）を眺められます。パノラマ表示方法：

1. ローカルストレージ：パノラマ写真を保存した microSD カードを microSD カードスロットに挿入し、[ローカルストレージ] 内でパノラマをプレビューする。
2. 機体ストレージからダウンロード：
   a) Mavic Pro/Spark：DJI GO 4 のメイン画面で、[再生] > [写真] に進み、パノラマを選択し、タップして機体にアップロードします。アップロードが終了したら、ゴーグルの [機体ストレージ] 内にパノラマのサムネイルが作成されます。1 本の指で上下にスワイプして、パノラマをゴーグルにダウンロードすると、[ローカルストレージ] 内で閲覧できるようになります。
   b) Mavic Air：パノラマは機体に保存され、ゴーグルに直接ダウンロードされ、[ローカルストレージ] 内で閲覧できます。

ゴーグルの再生ページからパノラマを選択すると、最初にサムネイルが表示されます。タッチパネルを再度タップし、360°ビューに切り替えます。

- 機体に記録された最大 1920 × 1080 の解像度のビデオは、[ローカルストレージ] か [機体ストレージ] から再生できます。
- 再生機能対応の機体は、Mavic シリーズ、Spark、Phantom 4 Pro/Advanced シリーズです。写真／ビデオをダウンロードする時、microSD カードがゴーグルに挿入されていることを確認してください。挿入後、[ローカルストレージ] 内で閲覧できます。
- microSD カードの以下のフォルダ／ディレクトリに保存された写真とビデオのみ、[ローカルストレージ] で閲覧できます。
  ビデオ：ルートディレクトリ内の DJI_VIDEO フォルダ、またはルートディレクトリ直下
  写真：ルートディレクトリ内の DJI_PHOTO フォルダ、またはルートディレクトリ直下
  パノラマ：ルートディレクトリ内の DJI_PANO フォルダ

- パノラマを表示させるには、機体が地上にあり、モーターが停止中の時のみにしてください。
- Mavic Pro をゴーグルと併用する際、ライブビューではなく、[機体ストレージ] からビデオを再生する場合、このビデオは全ての端末で同時に表示されます。安全のため、飛行中に、[機体ストレージ] にあるビデオを再生しないでください。

© 2018 DJI All Rights Reserved.

ビデオ再生

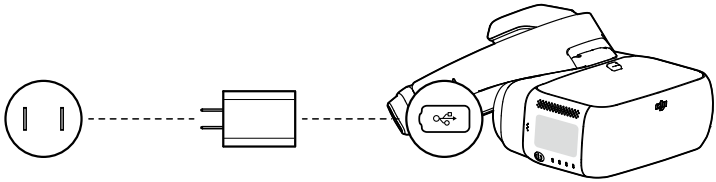
ゴーグルは、microSD カードか HDMI 接続を介した、最大解像度 1920×1080 のビデオの再生に対応しています。ビデオ再生方法：

1. microSD カード：ビデオファイルが、microSD カードのルートディレクトリ、またはルートディレクトリ内の DJI_VIDEO フォルダに保存されていることを確認します。次に、カードを microSD カードスロットに挿入し、[ツール] > [再生] > [ローカルストレージ] を選択してください。
2. HDMI：HDMI ケーブルを使って、ビデオが保存されている機器をゴーグルに接続し、[ツール] > [HDMI 入力] を選択します。

- ビデオ再生中、1 本の指で上下にスワイプして音量を調節します。2 本の指で上下にスワイプしてビデオの表示サイズを調節します。ビデオの高速スクラブ再生には 2 本の指で、細かいスクラブ再生には 1 本の指で、左右にスワイプします。
- microSD カードを使用したビデオ再生は、MP4、MOV、MKV フォーマットと互換性があります。詳細は仕様を参照してください。

ゴーグルの充電

1. 充電器をコンセント（100 - 240V、50/60Hz）に接続します。
2. ゴーグルの電源をオフにし、付属の Micro USB ケーブルを使用してヘッドバンドの充電ポートを充電器に接続します。



3. 充電時、充電ステータスインジケーターが、赤色点灯、黄色点灯、緑色点灯の順に変わります。バッテリー残量インジケーターが緑色に点滅し、現在のバッテリーレベルを示します。
4. バッテリーの充電が完了すると、充電ステータスインジケーターまたはバッテリー残量インジケーターがオフになります。ゴーグルを充電器から取り外してください。

充電中のバッテリー残量インジケーター

LED1	LED2	LED3	LED4	バッテリー残量
☼	○	○	○	0 ～ 25%
☼	☼	○	○	25 ～ 50%
☼	☼	☼	○	50 ～ 75%
☼	☼	☼	☼	75 ～ 100%
○	○	○	○	充電完了

- 安全を確保するため、ゴーグルの電源がオンのときに充電しないでください。
- 標準品ではないを使用するときは、最大出力電圧が 12V を超えないようにしてください。

- ゴーグルのバッテリーはヘッドバンドの中にあります。充電のためにヘッドバンドだけを充電器に接続することができます。充電ステータスインジケーターが消灯すると、バッテリーは完全に充電されています。
- 充電には標準充電器の使用をお勧めします。バッテリーを完全に充電するのに約 4 時間かかります。別の充電器を使用する場合は、さらに時間がかかる場合があります。
- ゴーグルおよび Qualcomm® Quick Charge™ 3.0 テクノロジー採用の標準充電器。

 © 2018 DJI All Rights Reserved.

ファームウェアのアップグレード

DJI Assistant 2

ゴーグルをアップグレードするには DJI Assistant 2 を使用します。

1. ゴーグルの電源を入れ、Micro USB ケーブルでコンピューターに接続します。
2. DJI Assistant 2 を起動し、登録されている DJI アカウントでログインします。
3. ［Goggles］を選択し、左側にある［ファームウェアの更新］をクリックします。
4. 必要なファームウェアバージョンを選択します。
5. DJI Assistant 2 が自動でファームウェアをダウンロードし、更新します。
6. ファームウェアの更新が完了後、ゴーグルを再起動します。

DJI Assistant 2 を使用して、Mavic Pro の機体と送信機およびゴーグルを同時にアップグレードします（標準モード用接続形態のみサポート）。

1. すべての機器の電源が入っていて、機体が送信機とリンクされていることを確認してください。
2. Micro USB ケーブルを使って送信機をコンピューターに接続します。
3. DJI Assistant 2 を起動し、登録されている DJI アカウントでログインします。
4. ［RC for Mavic Pro］を選択し、左側にある［ファームウェア更新］をクリックします。
5. 必要なファームウェアバージョンを選択します。
6. DJI Assistant 2 が自動でファームウェアをダウンロードし、更新します。
7. ファームウェアの更新が完了後、すべての機器を再起動します。

DJI GO 4 アプリ

DJI GO 4 アプリを使用して、Mavic Pro の機体と送信機およびゴーグルを同時にアップグレードします（標準モード用接続形態のみサポート）。

1. すべての機器の電源が入っていて、機体が送信機とリンクされていることを確認してください。
2. DJI GO 4 アプリで、送信機を接続します。新しいファームウェアのアップグレードが利用できる場合、プロンプトが表示されます。アップグレードを開始するには、モバイルデバイスをインターネットに接続し、画面の指示に従います。
3. ファームウェアの更新が完了後、すべての機器を再起動します。

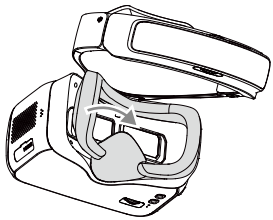
© 2018 DJI All Rights Reserved.

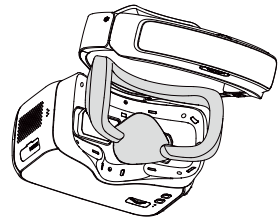
クリーニングとメンテナンス

クリーニングの前に必ず充電器をコンセントから抜き、接続しているケーブルがないことを確認します。

ゴーグルのクリーニング

柔らかい清潔な布でゴーグルの表面を拭ってきれいにします。
フェイシャルパッドをクリーニングするには、まず左側または右側から内側へ引っ張ってから反対側を外します。フェイシャルパッドに水をかけ、乾いた柔らかい布で拭って完全に乾かします。フェイシャルパッドの突起部分をゴーグル本体の穴に合わせ、両方を一緒に押さえてしっかりくっつけます。





レンズのメンテナンス

付属のクリーニングクロスを使用してレンズをやさしく拭います。
1. クリーニングクロスはアルコールかレンズクリーナーで湿らせます。
2. レンズの中心から外端に向かって円を描くように拭います。

⚠
- ヘッドバンドのパッド部分のお手入れには、アルコールを使用しないでください。
- レンズは繊細ですので、やさしくクリーニングしてください。レンズをひっかいてはいけません。見え方の全体的な質に影響が出てしまいます。
- ゴーグルは乾燥した部屋に室温で保管してください。高温や湿った環境下では、レンズが損傷する恐れがあります。

© 2018 DJI All Rights Reserved.

仕様

重量（標準）	ゴーグル本体：495g ヘッドバンド：500g
寸法	ゴーグル本体：195 × 155 × 110mm ヘッドバンド（折たたみ状態）：255 × 205 × 92mm
画面サイズ	5 インチ x2
画面解像度	3840 × 1080（単一画面：1920 × 1080）
リフレッシュレート	60Hz
視野角	85°（単一画面）
瞳孔間距離レンジ	58 ～ 70mm
通信周波数	2.4GHz
最大伝送距離	接続されている機体と同じ
ライブビューモード	1080p30、720p60、720p30
最小ビデオダウンリンクレイテンシ （近接場、干渉がない場合）	140ms（Mavic 2 シリーズ、720p60、ビデオ形式：1080p60） 110ms（Mavic Pro、720p60、ビデオ形式：720p120） 180ms（Mavic Air、720p30、ビデオ形式：720p120） 150ms（Spark、720p30、ビデオ形式：1080p30） 110ms（Phantom 4 Pro/Pro+ V2.0、720p60、ビデオ形式：720p120） 150ms（Phantom 4 Pro/Advanced シリーズ、720p60、 ビデオ形式：720p60/720p120） 167ms（Phantom 4、720p30、ビデオ形式：720p60） 140ms（Inspire 2+X5S、720p60、ビデオ形式：1080p120） 190ms（Inspire 2+X4S、720p60、ビデオ形式：1080p60）
対応動画再生フォーマット	MP4 / MOV / MKV / AVI / FLV / 3GP / MPG / TS （動画フォーマット：H264 / H263 / MPEG4 / MPEG2 / MPEG1、オーディオフォーマット：AAC / AC-3 / EAC3 / DTS / MP3 / MP2 / Vorbis / PCM）
I/O インターフェース	Micro USB ポート、3.5 mm オーディオポート、HDMI タイプ D ポート、 microSD カードのスロット
サポートされている HDMI	HDMI 1.4b、HDCP 1.4
センサー	ジャイロスコープ、加速度計、近接センサー
動作環境温度	0 ～ 40℃
バッテリー容量	9,440mAh
バッテリーエネルギー	35.44Wh
最大作動時間	6 時間
充電器	入力 100 - 240VAC、50 ／ 60Hz、0.5A 出力：5V ⎓ 3A ／ 9V ⎓ 2A ／ 12V ⎓ 1.5A

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

DJI incorporates HDMI™ technology.
The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

Qualcomm® Quick Charge™ 3.0

Qualcomm Quick Charge is a product of Qualcomm Technologies, Inc.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
Quick Charge is a trademark of Qualcomm Incorporated. All Qualcomm Incorporated trademarks are used with permission.

DJI サポート
http://www.dji.com/support

本内容は変更されることがあります。
最新版は下記よりダウンロードしてください。
www.dji.com/dji-goggles

本書の内容に関して、ご不明な点がございましたら、弊社までご連絡ください。**DocSupport@dji.com**.

DJI は DJI の商標です。
Copyright © 2018 DJI All Rights Reserved.